

# 「第13回 大月みらい協議会(人口問題・地域活性化を考える市民会議)」 会議概要

日 時 平成28年5月20日(金) 午後7時から午後9時

場 所 大月市民会館 4階視聴覚室

出席者 委員14名(5名欠席)

小笠原則雄、小俣理美、梶原崇照、小鷹侑子、佐藤茂幸、志村淳、志村賢二、  
仁科美芳、藤井真弓、星野喜忠、三木範之、武者稚枝子、山口明秀、渡辺勝

【事務局】 石井企画財政課長、藤原地域活性化担当リーダー、榎本、堀内

## 1. 星野議長あいさつ

皆さんこんばんは。相変わらず夜7時からの会議でございます。何かとご予定やご都合のある中でお集まりいただきありがとうございます。

話しは違いますが、今日、大相撲で白鵬関と稀勢の里関の一番がありました。私は見ることができなかったのですが、結果を後で聞いたのですが、白鵬が勝ったそうです。なぜこのようなことを言うのかというと、おそらく稀勢の里関は、この一番に勝てば将来が変わったのではないかと思います。もちろん、まだ優勝の芽はあるわけですが、それにしても白鵬関に勝てないということは、少なくとも横綱への夢は断たれたのではないかと思います。

言ってみると、私達は、皆さんのように経験豊富な方々に大変失礼ではありますが、何か大きな決心や決断をする、あるいは、そのような岐路に立つということがあるということ私を思います。そのときを乗り越えてうまくいったときもあれば、駄目だったなということあるのではないかと思います。

実は、この会は今後どのように展開していくのか、非常に大きなターニングポイントにかかっています。そのターニングポイントというのは、私は、この会にご参加いただいている皆様は、私が選んだわけではありませんが、お顔ぶれを見ると、大変忙しく、それぞれ仕事で、現場でご活躍の第一線の皆様でございます。言ってみると、そのような方々ですので、いろいろなお考え、忙しさの具合、お一人お一人が違ってするように拝見いたしております。

すると、一つの目標に対してアイデアを出す時期ではいいのですが、これから何かやっついこうかなというときには、委員の皆様それぞれによって、温度差という言い方は大変失礼になるかと思いますが、いろいろなご事情があって違ってくるのではないかなと思っております。

皆様には、事前に、今後の大月みらい協議会の活動についてのアンケートをお願いしましたが、今後のこの会議の方向性は、委員の皆様それぞれのお考えによるところが大きいと思います。それぞれの関わり具合や、お立場で変わってくると思います。そんなことを今日の会議で話し合っていきたいと考えています。

一つご報告があります。新田委員から、平成28年3月をもって委員を辞したいとの申し出がありました。新田委員は、ご承知のとおり、中央病院の院長としてご活躍いただきました。院長退任後、宮城県の仙台に移られまして、このみらい協議会には、この1年間、毎回仙台から参加していただいていたと思います。新田委員からは、ここまで来る中で、皆様の意見をいろいろと聞くことができ、この会が今後も発展して新しい方向に進むことを願い、自分はここで退かせていただきたいとの申し出がありました。新田委員のご事情はよくわかりますので、皆様にはご了解をいただきたいと思います。それでは、本日もよろしくお願いたします。

## 2. 議事

### (1) 第12回会議概要及び議事録について

- ・第12回会議概要の市ホームページへの公開について承認された。

### (2) アンケート調査結果を踏まえた大月みらい協議会の今後の活動について

- ・今回の会議の前に、委員の方を対象とした、大月みらい協議会の今後の活動についてのアンケートを実施した。その結果を踏まえ、今後の大月みらい協議会の活動について、たたき台として、市から以下のとおり提案がありました。

## 大月みらい協議会に今後取り組んでいただきたいこと

### 大月みらい協議会 委員の皆さんに今後取り組んでいただきたいこと

- ① 大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証及びこれまでにみらい協議会において議論されてきたアイデア等をさらに深く掘り下げ、市に提案する。
- ② 総合戦略に記載している具体的施策を市民が主体となって実施する。  
(1) 小さな拠点づくりプロジェクト (総合戦略28ページ、Aグループ提案施策)  
(2) 市民による大月情報の収集や編集、情報発信を行う市民同士のネットコミュニティ・プロジェクト (総合戦略17ページ、Bグループ提案施策)  
(3) 学校応援団立ち上げプロジェクト (総合戦略30ページ、Cグループ提案施策)
- ③ 大月市第7次総合計画策定市民会議への参画

### 大月みらい協議会 全体会について

2～3ヶ月に1度程度を目途に開催し、各々の取組みの進捗状況の報告や、他の委員の方からの意見を求めたり相談する機会とする。また、市の取組み状況の報告を行う。

### 平成28年度 地方創生に係る市の取組み

- 大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略に記載した具体的な施策の実施。  
(交流×移住×定住推進総合事業、婚活イベントを実施する団体等に対する支援 等)
- 必要に応じ総合戦略の見直し改善を行い、より効果のある施策の展開を図る。  
(PDCAサイクルによる進行管理)

## 今後取り組んでいただきたい具体的な取組み内容

① 大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証及びこれまでにみらい協議会において議論されてきたアイデアをさらに深く掘り下げ、市に提案する。

- ・総合戦略については、市の行政内部組織においてP D C Aサイクルによる効果・検証を行います。その部分について、大月みらい協議会委員の皆さんからの視点でご意見をいただきたい。
- ・これまでにみらい協議会で議論されてきたアイデアや企画について、さらに深く掘り下げ、市へ提案していただきたい。

② 総合戦略に記載している具体的施策を市民が主体となって実施する。

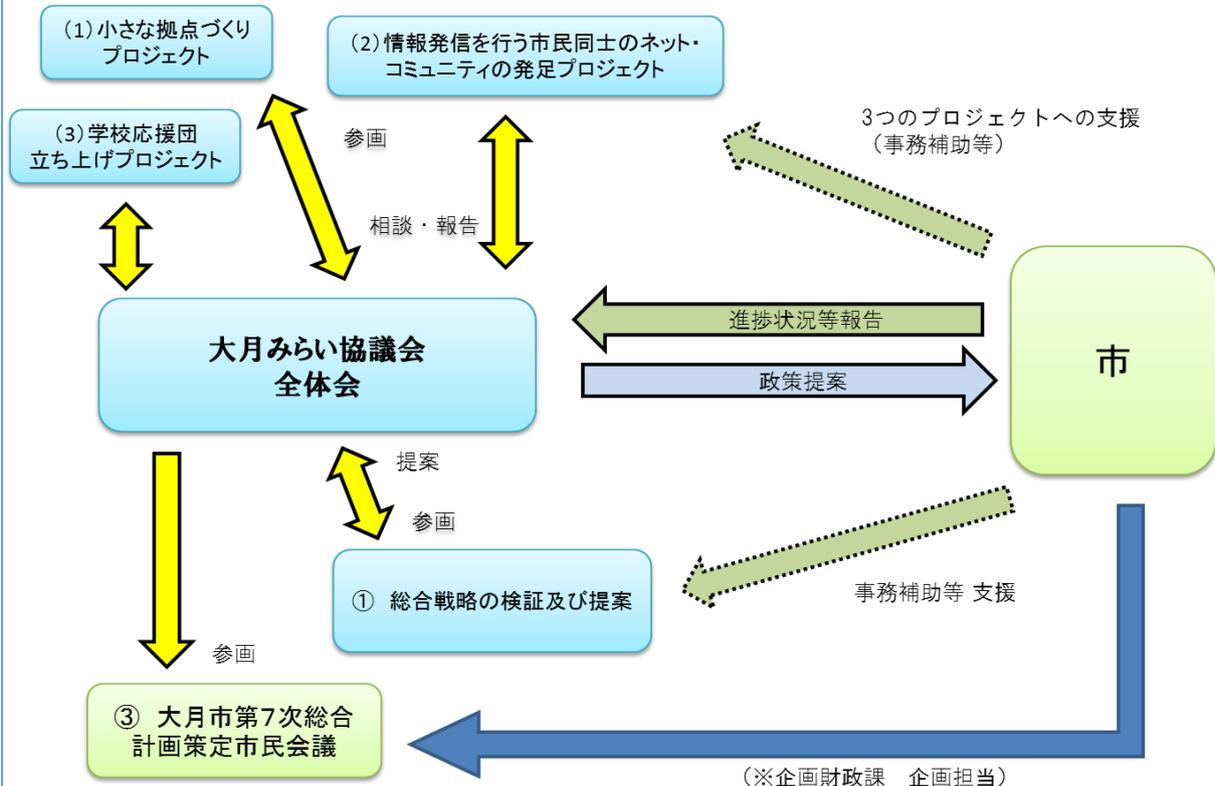
- (1) 小さな拠点づくりプロジェクト（総合戦略28ページ、大月みらい協議会Aグループ提案）  
市民の主体的な参加による小さな拠点づくりに向けて、地域デザイン研修会を大月短期大学及び県内大学機関等と連携して開催し、各拠点におけるプロジェクトを発足し、調査研究や企画提案等、実現に向けて取り組んでいただきたい。
- (2) 市民による大月情報の収集や編集、情報発信を行う市民同士のネットコミュニティ・プロジェクト（総合戦略17ページ、大月みらい協議会Bグループ提案）  
市民による大月情報の収集や編集、情報発信を行う市民同士のネット・コミュニティ発足に向けて、組織の立ち上げに取り組んでいただきたい。
- (3) 学校応援団立ち上げプロジェクト（総合戦略30ページ、Cグループ提案施策）  
市内の学校区に地域をあげての学校応援団組織の立ち上げに取り組んでいただきたい。

③ 大月市第7次総合計画策定市民会議への参画

大月市第7次総合計画の策定に向けて、まちづくりの方向性を示すテーマについて検討する市民会議に大月みらい協議会から3名程の参画をお願いしたい。これまでにみらい協議会で議論され積み上げてきた人口問題・地域活性化の要素を総合計画にも盛り込んでいただきたい。

## 大月みらい協議会 活動の相関図

② 総合戦略に記載している具体的施策を市民が主体となって実施する。



●市からの提案について、委員から様々な意見が出されましたが、結論には至らず、再度議論することとなった。

その際、次回会議の前に、市からの提案を踏まえた意向調査を再度実施することとなった。

### (3) 地方創生加速化交付金に採択された事業について（報告）

・大月市は、国の平成27年度補正予算の地方創生加速化交付金に事業申請し採択され、その事業の概要について、以下のとおり報告がありました。

#### 交流×移住×定住推進総合事業（※国の地方創生加速化交付金に事業申請し採択された事業）

【交付決定金額】 30,526千円 補助率(10/10) 【事業分野】 地方への人の流れ

##### 【事業の概要】

本事業は、着地型観光を核とした交流人口促進策に移住希望者等に対するサポート体制の構築による移住定住促進策を組み合わせ一体的に展開するとともに、未利用地が増加して利便性の限界点を迎えようとしている鉄道駅周辺の土地の利活用や高齢化社会に対応した将来にわたり持続可能なまちづくりを目指して、まちづくりの指針となる「(仮称)おおつき創生プラン」を策定し、市内全域を計画的に整備することで、市民に持続可能な地域運営を示して転出を抑制し、観光客と移住者の促進を加速させるために取り組む総合事業である。

【事業実施期間】 平成28年4月～平成29年3月

#### 事業Ⅰ 着地型観光を核とした交流人口促進策と移住定住促進策の一元化

事業予算:9,036千円

移住希望者を対象に移住定住に関する総合相談窓口を整備し、移住定住相談会や移住定住体験イベントを企画運営するとともにICTの活用や他自治体など広域的に連携して開催されるイベントへ出展・参加し、積極的な情報発信を行うなど、移住定住に繋がるサポート体制を加えて一元化する。

【実施主体】大月ウェルネスネットワーク運営協議会

【事業内訳】 ①交流体験イベントの企画運営、②移住定住に関する総合相談窓口の設置（相談業務）、

③移住定住に関する相談会や体験イベントの企画運営、④移住定住に関する情報発信

【主な事業経費】業務委託料（内訳 交流体験イベント運営費、移住相談員人件費、移住情報発信関連製作費等）

#### 事業Ⅱ 「(仮称)おおつき創生プラン」の策定

事業予算:21,490千円

生涯活躍のまち（大月版CCRC構想）」及び「コンパクトなまちづくり」の実現に向けて、安全に安心して住み続けられる住環境整備を柱とし、利便性の高い鉄道駅周辺における低未利用地を有効活用する考えを示した、まちづくりの指針となる「(仮称)おおつき創生プラン」を策定し、市内全域を計画的に整備することで、持続可能な地域運営を住民に示して転出を抑制すると共に移住定住促進を図る。

【実施主体】大月市（担当課：地域整備課）

【主な事業経費】策定支援委託料等

### 大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略における事業の位置づけ

【基本目標1】 大月の特性を活かした雇用の場を創出する（しごと創生）

着地型観光を核とする交流促進策と移住定住促進策の一元化による相乗効果を生み出し、着地型観光産業の育成と雇用の場を確保する。

【基本目標2】 立ち寄りたくなる、住みたくなる地域をつくる（地方への人の流れ）

本市への移住・定住者を増加するためには、豊かな自然環境に恵まれ、都市部と富士山をつなぐ拠点として交通アクセスの良さなどを生かし、交流体験イベントや移住体験イベントを実施し、多くの人に本市の良さを実感してもらえるようなきっかけづくりや、移住定住相談窓口を設置し安心して移住・定住ができるようなサポート体制の充実を図る。

【基本目標4】 住み続けたい魅力的な特徴あるまちをつくる（まちづくり）

「(仮称)おおつき創生プラン」により、福祉関連施設や介護専門学校などと連携し、「生涯活躍のまち（大月版CCRC構想）」及び鉄道駅を中心とした「拠点機能のコンパクト化」の実現に向けて、利便性の高い鉄道駅周辺における低未利用地を有効活用する考えを示し、安全に安心して住み続けられる住環境整備を柱とし、「地方への新しい人の流れづくり」のためのまちづくりを加速化する。